

♣ 扉 自殺予防の声かけ運動	小畑美史	1
♥ まなぶということ	飯沼秀雄	2
♠ 今月の統計資料		4
◆ 詩 危ない	まつうらまさお	8



特集 知っておきたい労働問題

コミュニケーション能力の向上で問題解決を	新井栄三	10
相談事例からみるハラスメントの現実	関口達矢	14
黙っていても、職場や暮らしは良くはならない	梅川正信	17
若い発想で活性化する労働組合	田原寛之	20
権利保護は中国でも長年のテーマです	吉田陽介	22
日本のうしお 世界のうしお		
最賃引き上げと公務員の「給与制度のアップデート」	大越増彦	25

パリ五輪辞退問題に見る日本スポーツ界の課題 …… 森川貞夫

国家と教育 18 南北朝正閏問題 …… 岩垣真人 33

職場の法律相談 世界の国々に比べて低い賃金 …… 海渡雄一 37

第2特集 ご存知ですか 北陸電力のこと、志賀原発のこと …… 中垣たか子 54

誌上学習会 『共産党宣言』 ① 『宣言』の時代背景 …… 61

◆ 働く現場から	41	◆ 中国観看	50
◆ キャラバンサライ	42	◆ 働くものと健康	52
◆ スポーツ時評	44	◆ 北から南から	65
◆ メルボルン便り	46	◆ センターと	68
◆ 経済を知ろう!	48	◆ みなさんをつなぐ	

カット||野崎安希子

まなぶということ

参加者が多い時でも少ない時でも つづける

飯沼 秀雄

県内6カ所で学習会をしてしています。長い続けているのは、主に自治労の組合員を対象に2カ月ごとにやっている学習交流会。テキストの読み合わせ・学習と交流を行っています。現役世代が少なくなっているので、職場に後継者をつくるのが課題です。

M市・I市の2つの地域からの参加者で行っている学習会では、月1回、『まなぶ』をつかって読み合わせと意見交換をしています。はじめたきっかけは関東甲青年女性協議会の役員を要請された女性からの「勉強したい」という相談でした。1年かけて『経済学入門』をマンツーマンで学習しました。「I市でもやりたい」ということでいっしょに学習会をやるうとなり、25年になります。

地区労の後継組織として労組会議を結成し、活動をつづけてきました。昨年、25年つづいた労組会議を、平和と学習を中心とする「護憲原水禁」に変更しました。毎月『はたらく者の労働法』を学習し、産別単組間で交流しています。県議会議員や市議会議員も参加していて、議会の取り組みなどを報告してもらい、リアルな政治課題も学んでいます。地域の労働組合や政治活動が弱まり、組織内にとどまりがちです。小さな地域の塊が地域の連帯や政治情勢の共有化に寄与できればと継続して取り組んでいます。

読者の皆さんはどんな思いで学習会に取り組んでおられるでしょうか。私は社会変革の力は労働者、労働組合の強化以外にないという思いからです。

労働運動にとっての大きな課題は、若い世代が組合に加入しない、参加しないことです。学習会での議論で気がついたことは、「職場での職員同士のつながりが少ないこと」です。同じ部署であっても名前を知らない、仕事以外で会話したことがないという話にはびっくりさせられました。あらためて、職場の会話から運動の再構築に取り組むにも、自分自身の学習を通じて感性を豊かにし、アンテナを高くし仲間づくりを進めましょう。

(千葉県労働大学連絡会代表)